

勝かつ
海舟かいしゅう
(峰みね
章山しょうざん)

君きみ
知るしるや
来襲らいしゅうす
列夷れつゐの
危あやうきを

説とくは
是これ
海舟かいしゅう
兵学へいがくの
師し

幕落ばくらくの
難時なんじ
内外ないがいに
奔ほんし

維新いしんの
日本にっぽん
英姿えいしを
顕あらわす

語釈 ※君きみ || 坂本龍馬のこと。 ※来襲らいしゅう || 襲襲つてくること。

と。攻めてくること。 ※列夷れつゐ || 列列をなしている蝦夷。

いわゆる諸外国のこと。 ※兵学へいがくの師し || 龍馬の師、勝

海舟のこと。 ※幕落ばくらく || 徳川幕府の権力がなくなつてき

ている。 ※難時なんじ || 困難な事柄。 ※奔ほん || はしる。

※維新いしん || すべてが改まって新しくなること。特に、政

治や社会の革新。 ※英姿えいし || 勇ましく、りっぱな姿。

※顕あらわ || 広く世間に知らせる。

通釈 この日本に諸外国が襲襲つてこようとしているこ

とを、知しっているかと龍馬に説とく勝海舟。現在、幕府

の力がなくなつているこの時にこそ、この国を走り抜

き、この日本に維新いしんを起おこそうとしている私の姿すがたが、

これからの君きみに影響えいじやう与よえるであろうと。